

## 2. 大阪 880 万人訓練

### 調査結果の概要

テーマ	大阪 880 万人訓練
担当課	危機管理室 危機管理課
設問数	10 問
趣旨・目的	<p>本市では令和 6 年 9 月 3 日に防災行政無線、緊急速報メール等で南海トラフ巨大地震を想定した訓練情報を発信し、その情報を受けた市民の皆様に、ご家庭や学校・職場等それぞれの場所で訓練を実施していただきました。</p> <p>今回のアンケートは、皆様がこの訓練をどの程度知っていたか等を検証し、また今後も継続的な取組とすることにより、更なる防災意識の啓発に繋げていくことを目的に実施します</p>
調査結果	各設問のページをご覧ください。
調査結果に係る 担当課の所見	<ul style="list-style-type: none"><li>問 16 では、本訓練を知らなかった方が令和 5 年度に比べて 7.3 ポイント増加しました。令和 6 年度は広報媒体ごとに異なる時期に情報発信を行った結果、問 17 では、約 7 割の方が広報さかいで本訓練を知ったことが分かりました。今後は最も有効な媒体である広報さかいを情報発信の中核とし、その発行時期に合わせて、他の媒体や経路を連携させて使用することにより、情報発信の相乗効果を高め、認知度向上を図ります。</li><li>問 20 では、本訓練に参加しなかった方が令和 5 年度に比べて全体で 4.3 ポイント増加しました。一方、問 24 では平日よりも休日の方が訓練に参加しやすいと思う方が多く、平日にとらわれず休日実施等を検討します。</li><li>問 21 では、本訓練の趣旨であり、最も参加しやすい身を守る行動の実施率が令和 5 年度の 62.6% から 33.7% と低下しており、本訓練の参加方法や行動を更に分かりやすく伝達する取組を行います。</li><li>問 23 では、訓練に参加しなかった方のうち、訓練参加を促進するための各種施策（訓練参加認定証の進呈または訓練好事例集の周知）を知らなかった方は 93.7% でした。引き続き、各種施策を周知し、訓練参加率の向上に取り組みます。</li></ul>

## (1) 事前周知

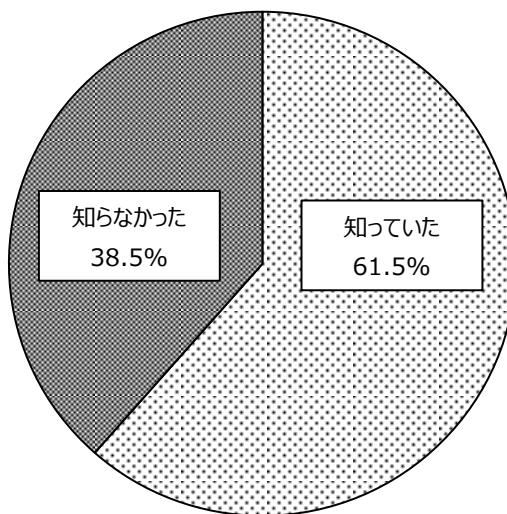
問 16. 訓練開始日時（9月3日15時）より前に、この訓練があることを知っていましたか。

【1つ選択】

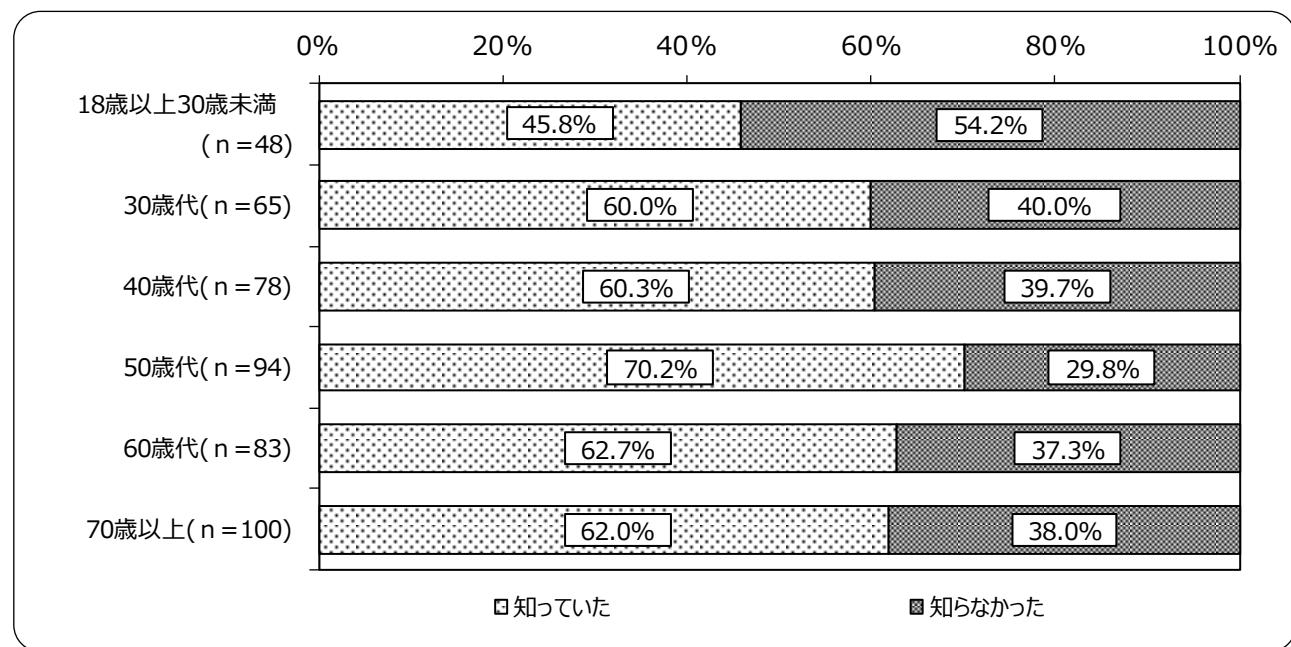
「知らなかった」と回答した方は38.5%であり、令和5年度の31.2%から7.3ポイント増加した。

特に18歳以上30歳未満が54.2%で最も多かった。

選択項目 (n=468)		回答数	構成比
1 知っていた		288	61.5%
2 知らなかった		180	38.5%
計 (回答総数)		468	100.0%



«年齢別»



## (2) 情報収集手段

問 17. 問 16 で「1 知っていた」と回答された方に伺います。

今回の訓練についてどのような媒体・経路で知りましたか。

【複数選択可：いくつでも】

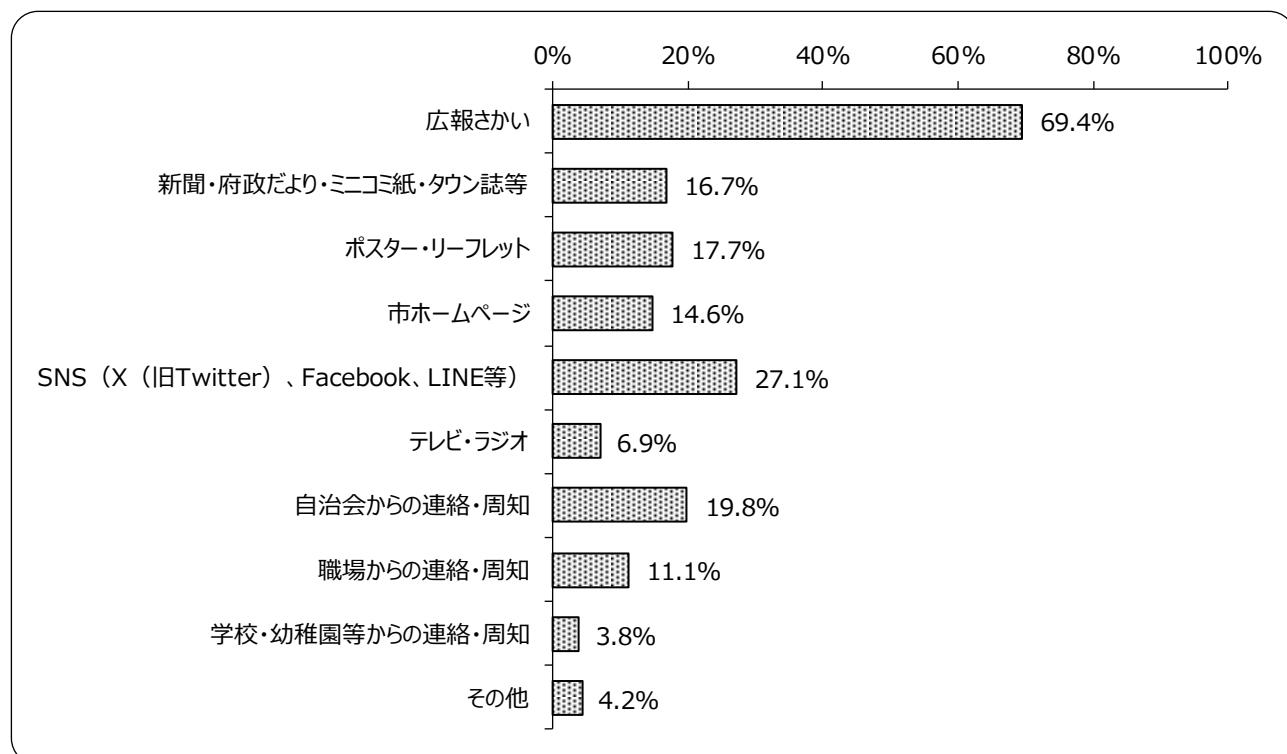
「広報さかい」と回答した方は 69.4% であり、令和 5 年度の 67.0% と同様に約 7 割を占めた。

	選択項目 (n=288)	回答数	回答数/n
1 広報さかい		200	69.4%
2 新聞・府政だより・ミニコミ紙・タウン誌等		48	16.7%
3 ポスター・リーフレット		51	17.7%
4 市ホームページ		42	14.6%
5 SNS (X (旧Twitter) 、Facebook、LINE等)		78	27.1%
6 テレビ・ラジオ		20	6.9%
7 自治会からの連絡・周知		57	19.8%
8 職場からの連絡・周知		32	11.1%
9 学校・幼稚園等からの連絡・周知		11	3.8%
10 その他		12	4.2%

[10 その他]

【主な回答】

- 人から聞いた。
- 毎年の訓練なので知っていた。
- 携帯メール



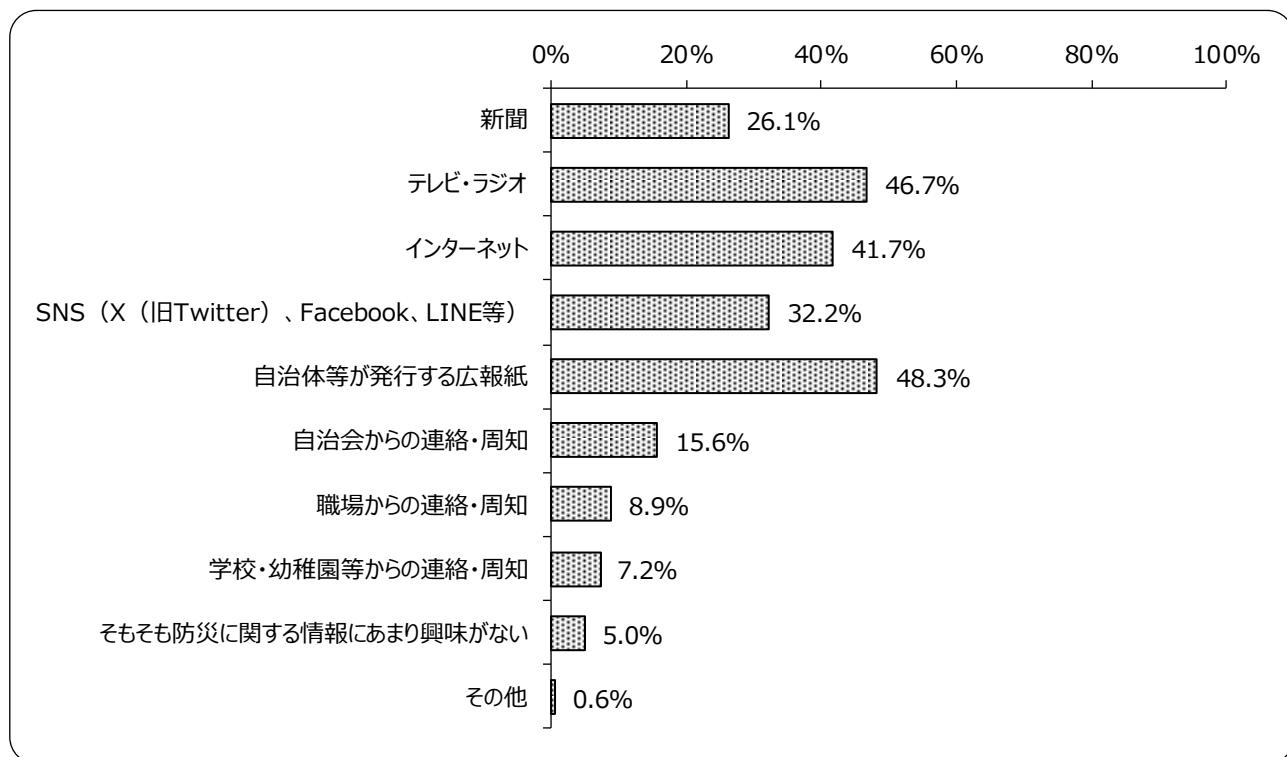
問 18. 問 16 で「2 知らなかった」と回答された方に伺います。

近年、様々な媒体を通じて防災に関する情報が発信されていますが、こうした防災情報をどのような手段で受け取っていますか。

【複数選択可：いくつでも】

「自治体等が発行する広報紙」と回答した方は 48.3%であり、令和 5 年度の 38.1%から増加した。

	選択項目 (n=180)	回答数	回答数/n
1 新聞		47	26.1%
2 テレビ・ラジオ		84	46.7%
3 インターネット		75	41.7%
4 SNS (X (旧Twitter) 、Facebook、LINE等)		58	32.2%
5 自治体等が発行する広報紙		87	48.3%
6 自治会からの連絡・周知		28	15.6%
7 職場からの連絡・周知		16	8.9%
8 学校・幼稚園等からの連絡・周知		13	7.2%
9 そもそも防災に関する情報にあまり興味がない		9	5.0%
10 その他		1	0.6%



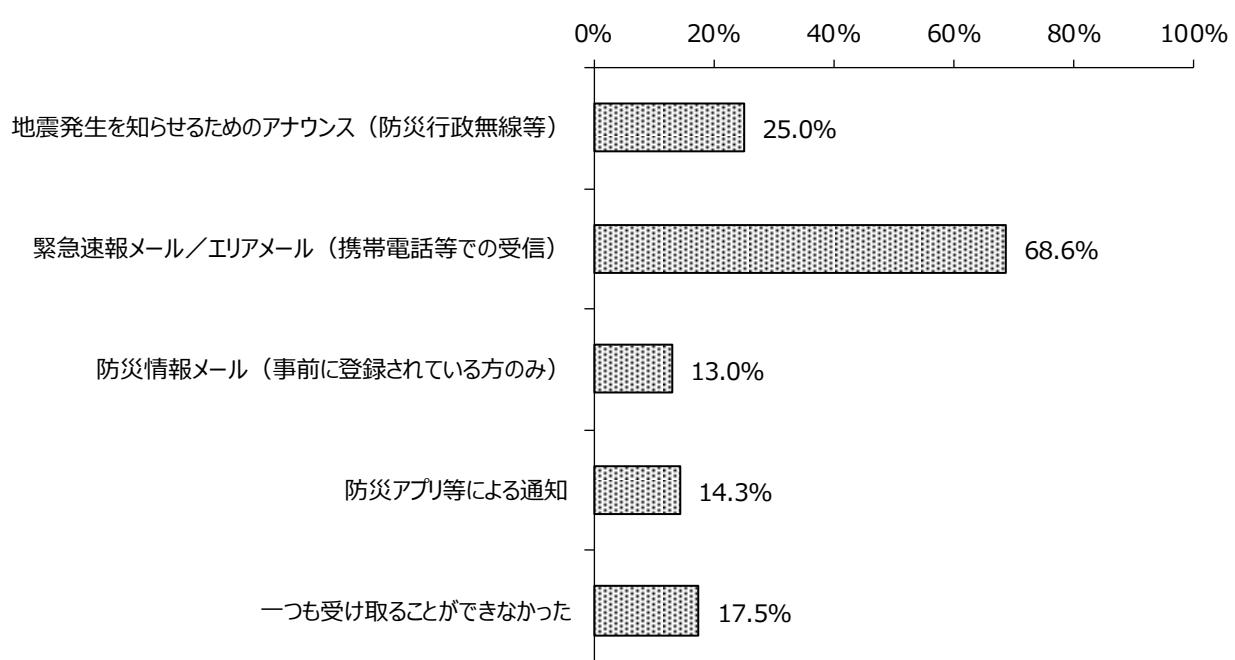
### (3) 情報の伝達

問 19. 訓練開始の合図として、4種類のアナウンスを行いましたが、どの合図を受け取ることができましたか。

【複数選択可：いくつでも】

「一つも受け取ることができなかった」と回答した方は 17.5%であり、令和 5 年度の 13.8%から増加した。

	選択項目 (n=468)	回答数	回答数/n
1	地震発生を知らせるためのアナウンス（防災行政無線等）	117	25.0%
2	緊急速報メール／エリアメール（携帯電話等での受信）	321	68.6%
3	防災情報メール（事前に登録されている方のみ）	61	13.0%
4	防災アプリ等による通知	67	14.3%
5	一つも受け取ることができなかった	82	17.5%



#### (4) 訓練参加

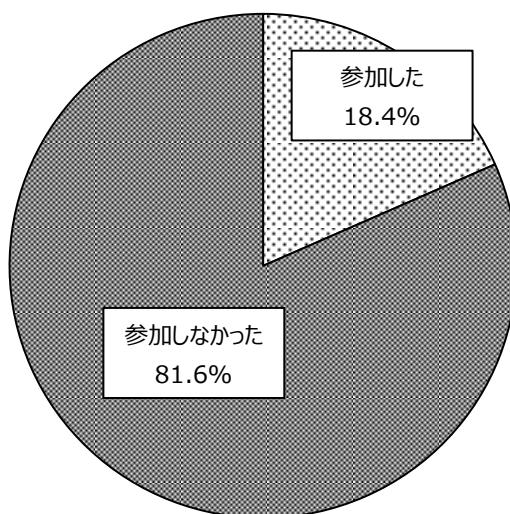
問 20. あなたは、今回の訓練に参加しましたか。

【1つ選択】

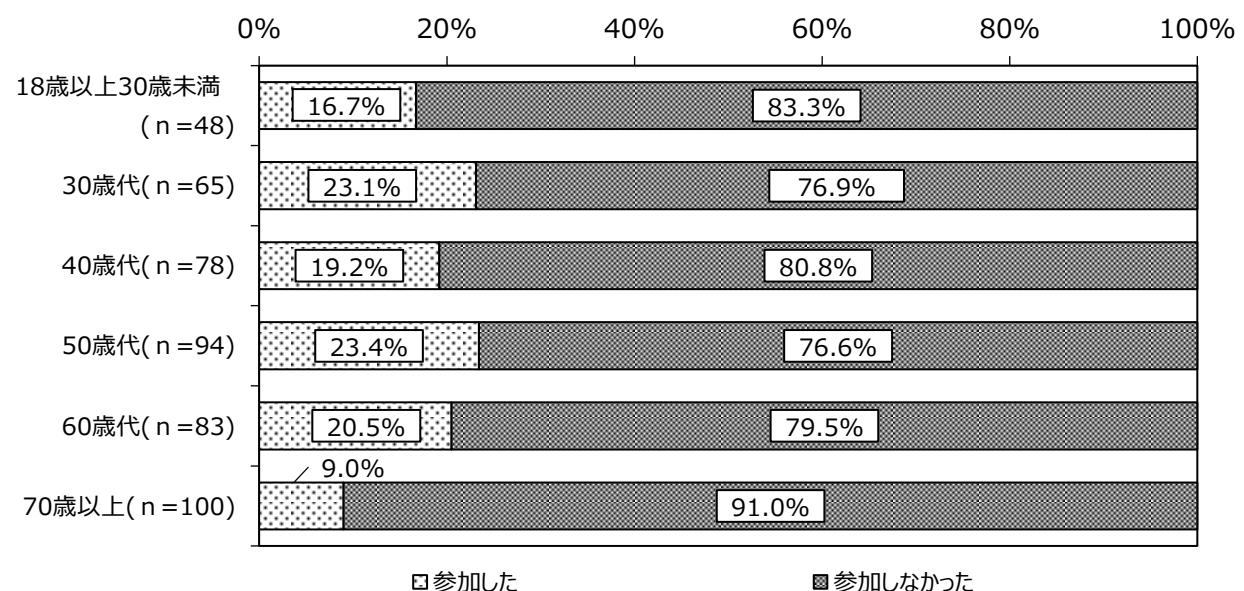
「参加しなかった」と回答した方は 81.6% であり、令和 5 年度の 77.3% から 4.3 ポイント増加した。

参加しなかった割合が最も多かったのは 70 歳以上 91.0%、次いで 18 歳以上 30 歳未満 83.3% であった。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	参加した	86	18.4%
2	参加しなかった	382	81.6%
計 (回答総数)		468	100.0%



«年齢別»



## (5) 訓練内容

問 21. 問 20 で「1 参加した」と回答された方に伺います。

どのような訓練を行いましたか。

【複数選択可：いくつでも】

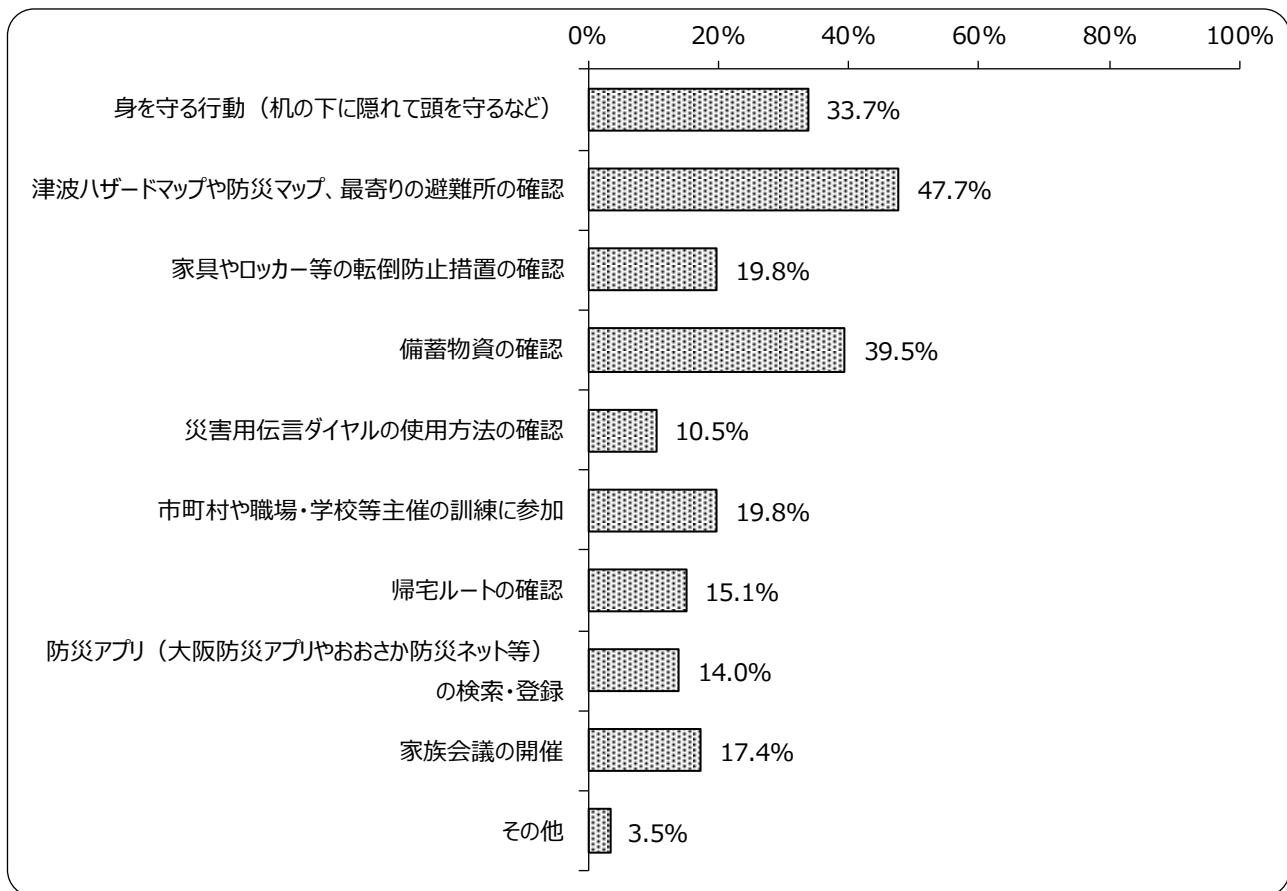
令和 5 年度では「身を守る行動（机の下に隠れて頭を守るなど）」と回答した方が 62.6%と最も多かったが、令和 6 年度では「津波ハザードマップや防災マップ、最寄りの避難所の確認」と回答した方が最も多い結果となった。

	選択項目 (n=86)	回答数	回答数/n
1	身を守る行動（机の下に隠れて頭を守るなど）	29	33.7%
2	津波ハザードマップや防災マップ、最寄りの避難所の確認	41	47.7%
3	家具やロッカー等の転倒防止措置の確認	17	19.8%
4	備蓄物資の確認	34	39.5%
5	災害用伝言ダイヤルの使用方法の確認	9	10.5%
6	市町村や職場・学校等主催の訓練に参加	17	19.8%
7	帰宅ルートの確認	13	15.1%
8	防災アプリ（大阪防災アプリやおおさか防災ネット等）の検索・登録	12	14.0%
9	家族会議の開催	15	17.4%
10	その他	3	3.5%

[10 その他]

【主な回答】

- 屋内から外へ出る。
- 無事札の掲示



## (6) 訓練不参加理由

問 22. 問 20 で「2 参加しなかった」と回答された方に伺います。

訓練に参加しなかった理由について教えてください。

【複数選択可：いくつでも】

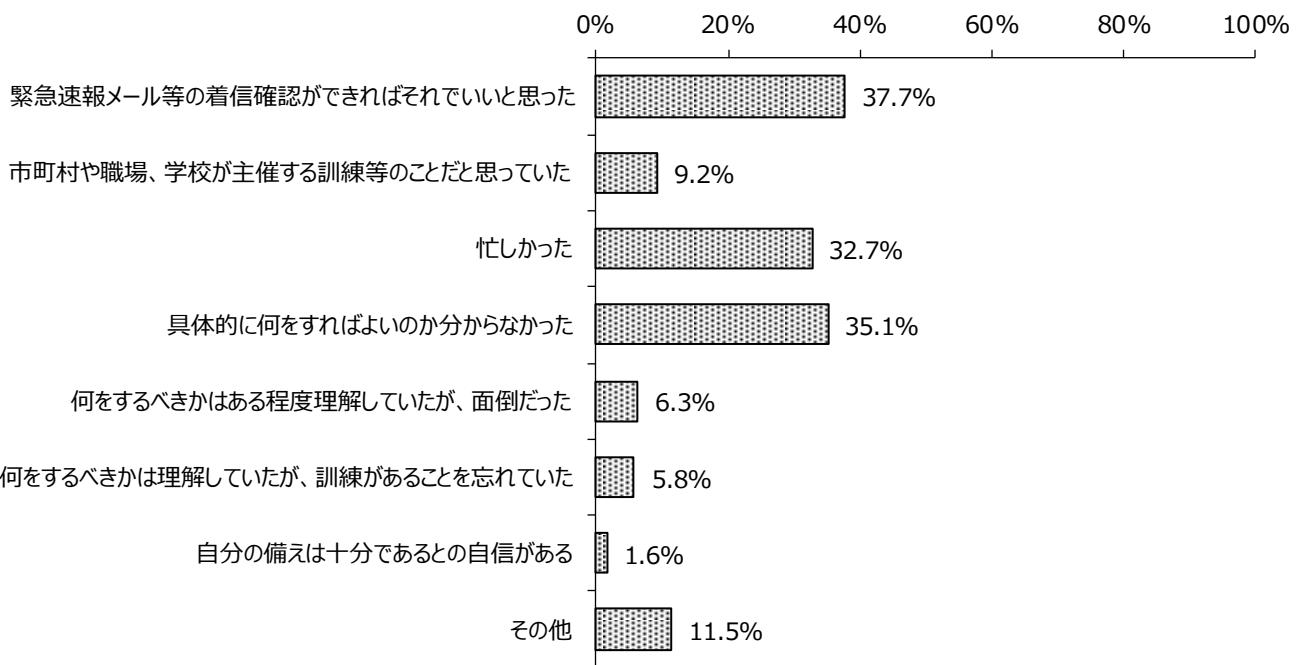
「緊急速報メール等の着信確認ができればそれでいいと思った」「具体的に何をすれば良いのか分からなかった」と回答した方はそれぞれ 37.7%、35.1% であり、令和 5 年度は 34.9%、31.3% であった。

	選択項目 (n=382)	回答数	回答数/n
1	緊急速報メール等の着信確認ができればそれでいいと思った	144	37.7%
2	市町村や職場、学校が主催する訓練等のことだと思っていた	35	9.2%
3	忙しかった	125	32.7%
4	具体的に何をすればよいのか分からなかった	134	35.1%
5	何をするべきかはある程度理解していたが、面倒だった	24	6.3%
6	何をするべきかは理解していたが、訓練があることを忘れていた	22	5.8%
7	自分の備えは十分であるとの自信がある	6	1.6%
8	その他	44	11.5%

[8 その他]

【主な回答】

- 訓練があることを知らなかった。
- 業務中で何もできなかった。
- 携帯電話の電源を切っているので分からなかった。
- 高齢のため
- 障害者のため



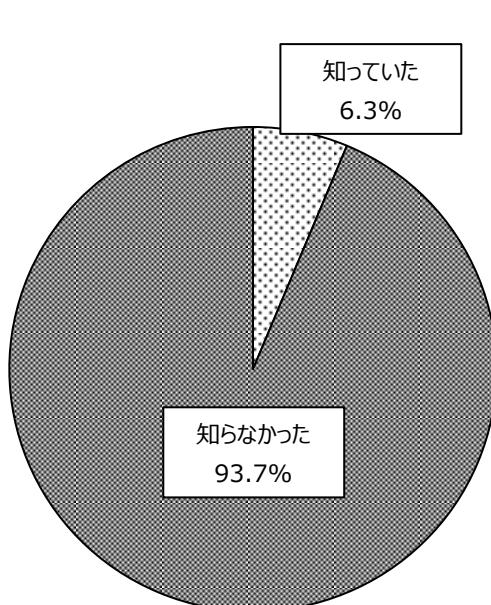
## (7) 各種施策の周知

問 23. 問 20 で「2 参加しなかった」と回答された方に伺います。

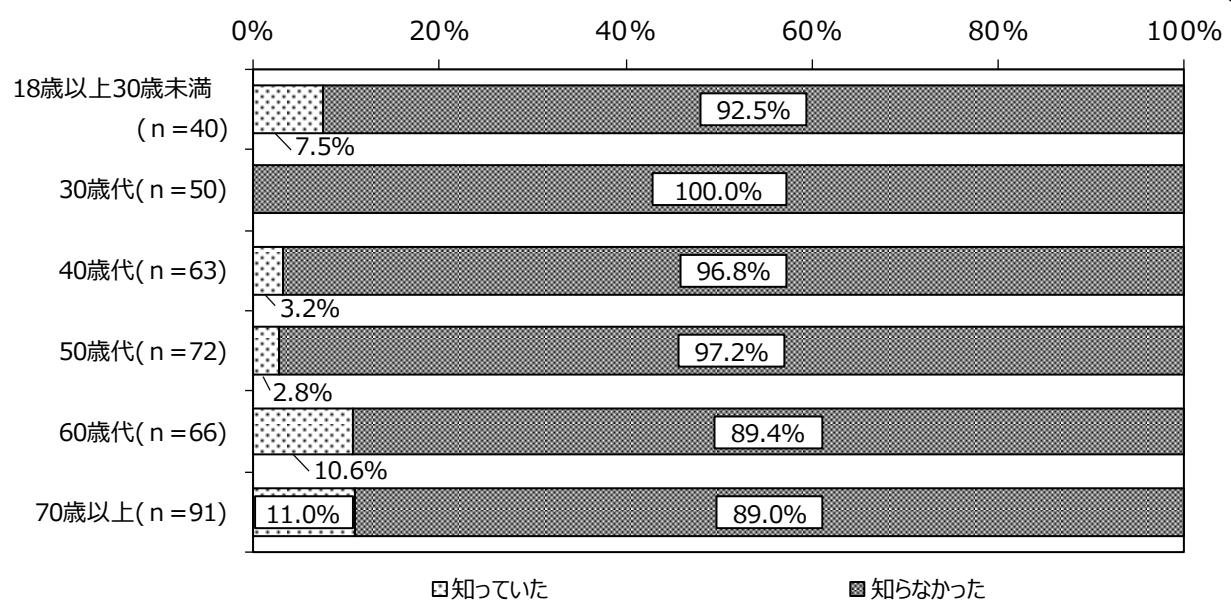
訓練参加を促進するための各種施策（訓練参加認定証の進呈または訓練好事例集の周知）について、知っていましたか。  
【1つ選択】

「知っていた」と回答した方は 6.3% であった。特に 30 歳代は 0% であった。

	選択項目 (n=382)	回答数	構成比
1	知っていた	24	6.3%
2	知らなかった	358	93.7%
	計 (回答総数)	382	100.0%



### «年齢別»

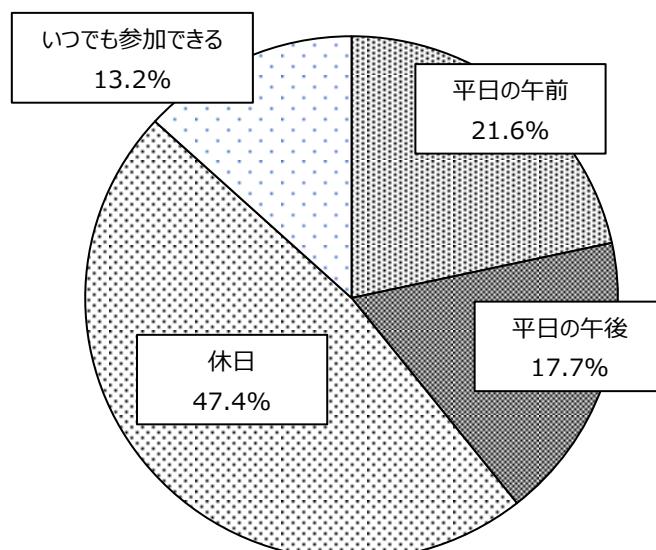


## (8) 訓練実施時期

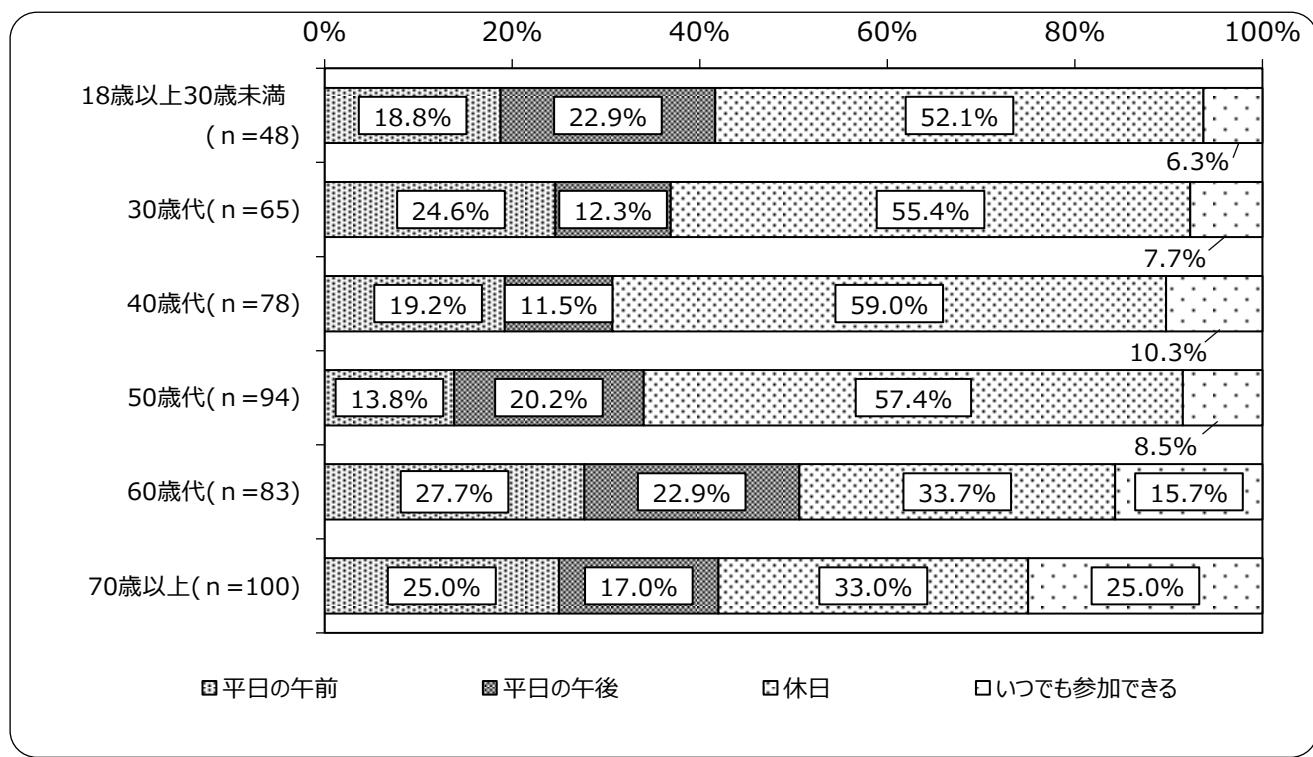
問 24. 訓練を一斉に実施する場合、訓練参加が比較的容易であると思う時間帯は、いつですか。 【1つ選択】

「休日」と回答した方は 47.4% であった。特に 50 歳代以下は各年代で過半数を占めた。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1 平日の午前		101	21.6%
2 平日の午後		83	17.7%
3 休日		222	47.4%
4 いつでも参加できる		62	13.2%
	計 (回答総数)	468	100.0%



### «年齢別»



## (9) 訓練実施方法

問 25. 訓練に参加しやすいと思う方法は、どれですか。

【1つ選択】

「全市民一斉実施（現行）」と回答した方は約5割を占めた。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	全市民一斉実施（現行）	227	48.5%
2	情報伝達のみを一斉に実施し、その他は各職場や各団体で実施	152	32.5%
3	情報伝達を当日複数回実施し、その他は各職場や各団体で実施	77	16.5%
4	その他	12	2.6%
	計（回答総数）	468	100.0%

[4 その他]

### 【主な回答】

- 自治会単位での実施
- 企業への参加の呼びかけ
- 他のイベントとの抱き合わせで実施
- 情報伝達の徹底

